



ソフトキー テンプレートの設定

管理者は、ソフトキー テンプレートの設定を使用して、Cisco Unified IP Phone（たとえば、7970 など）がサポートしているソフトキーを管理することができます。Cisco Unified Communications Manager がサポートしているソフトキー テンプレートには、標準と非標準の2つのタイプがあります。ソフトキーをサポートしているアプリケーションには、1つまたは複数の標準ソフトキー テンプレートが関連付けられています。たとえば、Cisco Unified Communications Manager には、Standard Feature および Standard User の各ソフトキー テンプレートが関連付けられています。標準ソフトキー テンプレートは変更できません。

管理者は、ソフトキー テンプレートの設定を使用して、非標準ソフトキー テンプレートをコピー、更新、または削除することができます。

次の各項では、ソフトキー テンプレートを設定する方法について詳しく説明します。

- [ソフトキー テンプレートの検索 \(P.90-2\)](#)
- [非標準ソフトキー テンプレートの作成 \(P.90-3\)](#)
- [非標準ソフトキー テンプレートへのアプリケーションソフトキーの追加 \(P.90-5\)](#)
- [非標準ソフトキー テンプレートにおけるソフトキーの位置の設定 \(P.90-6\)](#)
- [ソフトキー テンプレートの変更 \(P.90-8\)](#)
- [IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て \(P.90-11\)](#)

ソフトキー テンプレートの検索

ネットワーク内にはいくつかのソフトキー テンプレートが存在することがあるので、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、固有の条件を指定して、特定のソフトキー テンプレートを見つけることができます。ソフトキー テンプレートを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザ セッションでの作業中は、ソフトキー テンプレートの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ソフトキー テンプレートの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [デバイス] > [デバイスの設定] > [ソフトキーテンプレート] の順に選択します。

[ソフトキーテンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Softkey Templates)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、**ステップ 3** に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。
- 3 番目のドロップダウン リスト ボックスから、標準、非表示、または両方のタイプのソフトキー テンプレートのどれを検索するかを選択します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.90-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

非標準ソフトキー テンプレートの作成

Cisco Unified Communications Manager には、コール処理およびアプリケーション用の標準ソフトキー テンプレートが組み込まれています。カスタム非標準ソフトキー テンプレートを作成する場合は、標準テンプレートをコピーし、必要に応じてそれを変更します。

手順

ステップ 1 [デバイス] > [デバイスの設定] > [ソフトキーテンプレート] の順に選択します。

[ソフトキーテンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Softkey Templates)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [新規追加] をクリックします。

[ソフトキー テンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 ドロップダウンリスト ボックスから、ソフトキー テンプレートを選択し、[コピー] をクリックして新しいテンプレートを作成します。

[ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが再表示され、固有のソフトキー テンプレート名、および説明を入力するためのフィールドが表示されます。このウィンドウには、コピーするソフトキー テンプレートに関連付けられたアプリケーションが表示されません。

ステップ 4 [名前 (Name)] フィールドに、ソフトキー テンプレートを識別するための固有の名前を入力します。

ステップ 5 テンプレートの使用方法についての説明を入力します。

ステップ 6 標準ソフトキー テンプレートとしてこのソフトキー テンプレートを指定するには、[デフォルトソフトキーテンプレート (Default Softkey Template)] チェックボックスをオンにします。



(注) デフォルト ソフトキー テンプレートとしてソフトキー テンプレートを指定した場合は、デフォルトの指定を削除しない限り、このソフトキー テンプレートを削除できません。

ステップ 7 [保存] をクリックします。

ソフトキー テンプレートがコピーされ、[ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが再表示されます。

ステップ 8 非標準ソフトキー テンプレートにその他のアプリケーション ソフトキーを追加する場合は、[P.90-5](#) の「[非標準ソフトキー テンプレートへのアプリケーションソフトキーの追加](#)」を参照します。

ステップ 9 Cisco Unified IP Phone の LCD スクリーン上でのソフトキーの位置を設定する方法については、[P.90-6](#) の「[非標準ソフトキー テンプレートにおけるソフトキーの位置の設定](#)」を参照してください。

ステップ 10 設定を保存するには、[保存] をクリックします。

追加情報

[P.90-11](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

非標準ソフトキー テンプレートへのアプリケーションソフトキーの追加

Cisco Unified Communications Manager には、コール処理およびアプリケーション用の標準ソフトキー テンプレートが組み込まれています。カスタム非標準ソフトキー テンプレートを作成する場合は、標準テンプレートをコピーし、必要に応じてそれを変更します。作成した非標準ソフトキー テンプレートにアプリケーションソフトキーを追加する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.90-2 の「ソフトキー テンプレートの検索」の手順を使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、アプリケーションソフトキーを追加するソフトキー テンプレートを選択します。



(注) 変更できるソフトキー テンプレートは、左側の列にチェックボックスが表示されているものだけです。それ以外のソフトキー テンプレートはすべて、標準の読み取り専用テンプレートです。

[ソフトキー テンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 非標準ソフトキー テンプレートにその他のアプリケーションソフトキーを追加するために、[アプリケーションを追加] ボタンをクリックします。

[アプリケーションの追加先 (Add Application to) :] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 非標準ソフトキー テンプレートに追加する標準ソフトキー テンプレートを選択します。

ステップ 5 [保存] をクリックし、[閉じる] をクリックします。

選択した標準ソフトキー テンプレートに関連するソフトキーが、非標準ソフトキー テンプレートの末尾に追加されます。重複するソフトキーは自動的に削除されます。特定のコール状態のソフトキーの数が 16 を超えると、そのコール状態のオプションのソフトキーが削除されます (最後の方から順に)。オプションのソフトキーが削除された後もソフトキーの数が 16 を超える場合は、メッセージが表示されます。

ステップ 6 [保存] をクリックして、ソフトキーセットの設定を保存します。

ステップ 7 ソフトキー テンプレートの更新を電話機で有効にするために、[リセット] をクリックします。

追加情報

P.90-11 の「関連項目」を参照してください。

非標準ソフトキー テンプレートにおけるソフトキーの位置の設定

Cisco Unified Communications Manager には、コール処理およびアプリケーション用の標準ソフトキー テンプレートが組み込まれています。カスタム非標準ソフトキー テンプレートを作成する場合は、標準テンプレートをコピーし、必要に応じてそれを変更します。作成した非標準ソフトキー テンプレートで各コール状態に対するソフトキーの位置を設定する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.90-2 の「ソフトキー テンプレートの検索」の手順を使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、ソフトキーの位置を設定するソフトキー テンプレートを選択します。



(注) 変更できるソフトキー テンプレートは、左側の列にチェックボックスが表示されているものだけです。それ以外のソフトキー テンプレートはすべて、標準の読み取り専用テンプレートです。

[ソフトキー テンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 Cisco Unified IP Phone の LCD スクリーンにおけるソフトキーの位置を設定するために、[関連リンク] ドロップダウンリスト ボックスから [ソフトキー レイアウトの設定] を選択し、[移動] をクリックします。

[ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。[コール ステートの選択 (Select a call state to configure)] ドロップダウン リスト ボックスに、IP Phone の各 Cisco Unified Communications Manager コール状態が示されます。

ステップ 4 コール状態に対するソフトキー位置を設定するために、[コールステートの選択 (Select a call state to configure)] ドロップダウンリスト ボックスからコール状態を選択します。

[ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが再表示され、選択したコール状態に該当するソフトキーが [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] ペインと [選択されたソフトキー (Selected Softkeys)] ペインに表示されます。



ヒント ソフトキーに関連するプレースホルダーを作成する場合は、Undefined ソフトキーを追加します。この操作によって、追加したソフトキーは、すべてのコール状態で同じソフトキー位置に置かれます。

ステップ 5 リスト間でソフトキーを移動するには、両ペインの間右矢印と左矢印を使用します。

ステップ 6 [選択されたソフトキー] の位置を再調整するには、[選択されたソフトキー] ペインの右側の上矢印と下矢印を使用します。

ステップ 7 [保存] をクリックして、ソフトキー レイアウトの設定を保存します。

- ステップ 8** 右上隅にある [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [ソフトキーテンプレートの設定] リンクを選択して **[移動]** をクリックし、[ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウに戻ります。
- ステップ 9** 設定を保存するには、**[保存]** をクリックします。
- ステップ 10** ソフトキー テンプレートの更新を電話機で有効にするために、**[リセット]** をクリックします。
-

追加情報

P.90-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ソフトキー テンプレートの変更

作成したカスタム非標準ソフトキー テンプレートに変更を加えることができます。

- [ソフトキー テンプレートの名前変更 \(P.90-8\)](#)
- [ソフトキー テンプレートの削除 \(P.90-8\)](#)
- [ソフトキー テンプレートの更新 \(P.90-10\)](#)

追加情報

[P.90-11](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

ソフトキー テンプレートの名前変更

作成した非標準ソフトキー テンプレートの名前を変更する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [P.90-2](#) の「[ソフトキー テンプレートの検索](#)」の手順を使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、名前を変更するソフトキー テンプレートを選択します。



(注) 名前を変更できるソフトキー テンプレートは、左側の列にチェックボックスが表示されているものだけです。それ以外のソフトキー テンプレートはすべて、標準の読み取り専用テンプレートです。

[ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ページが表示されます。

ステップ 3 [名前 (Name)] フィールドに、新しい名前を入力します。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

[ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが再表示され、新しいソフトキー テンプレート名が表示されます。

追加情報

[P.90-11](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

ソフトキー テンプレートの削除

作成した非標準ソフトキー テンプレートを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイスまたはデバイス プールに現在割り当てられている非標準ソフトキー テンプレートは削除できません。非標準ソフトキー テンプレートを使用しているデバイスおよびデバイス プールを検索するには、[ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウの [関

連リンク] ドロップダウン リストボックスから [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、P.A-4 の「依存関係レコードへのアクセス」を参照してください。使用されている非標準ソフトキー テンプレートを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager はメッセージを表示します。現在使用されている非標準ソフトキー テンプレートを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除する非標準ソフトキー テンプレートを使用しているデバイスすべてに、別のソフトキー テンプレートを割り当てる。P.82-6 の「電話機の削除」を参照してください。
- 削除する非標準ソフトキー テンプレートを使用しているデバイスを削除する。P.82-6 の「電話機の削除」を参照してください。

手順

ステップ 1 P.90-2 の「ソフトキー テンプレートの検索」の手順を使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、削除するソフトキー テンプレートを選択します。



(注) 削除できるソフトキー テンプレートは、左側の列にチェックボックスが表示されているものだけです。それ以外のソフトキー テンプレートはすべて、標準の読み取り専用テンプレートです。

[ソフトキー テンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [削除] をクリックします。



(注) 該当するソフトキー テンプレートの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックすると、[ソフトキーテンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Softkey Templates)] ウィンドウから複数のソフトキー テンプレートを削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのソフトキー テンプレートを削除できます。

そのテンプレートを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。

ステップ 4 [OK] をクリックします。

ソフトキー テンプレートが削除された状態で、[ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが再表示されます。

追加情報

P.90-11 の「関連項目」を参照してください。

ソフトキー テンプレートの更新

作成した非標準ソフトキー テンプレートを更新する手順は、次のとおりです。テンプレート名、説明、サポートされているアプリケーション ソフトキー、およびソフトキー レイアウトは更新できません。

手順

ステップ 1 P.90-2 の「ソフトキー テンプレートの検索」の手順を使用して、ソフトキー テンプレートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、更新するソフトキー テンプレートを選択します。



(注) 更新できるソフトキー テンプレートは、左側の列にチェックボックスが表示されているものだけです。それ以外のソフトキー テンプレートはすべて、標準の読み取り専用テンプレートです。

[ソフトキー テンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 変更 (たとえば、アプリケーション ソフトキー セットまたはソフトキー レイアウトの追加) する設定を更新します。P.90-5 の「非標準ソフトキー テンプレートへのアプリケーション ソフトキーの追加」および P.90-6 の「非標準ソフトキー テンプレートにおけるソフトキーの位置の設定」を参照してください。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

ソフトキー テンプレートが更新された状態で、[ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが再表示されます。



(注) ソフトキー テンプレートの更新後、そのテンプレートを使用しているデバイスを再起動する必要があります。

ステップ 5 [リセット] をクリックして、更新したソフトキー テンプレートを適用します。

追加情報

P.90-11 の「関連項目」を参照してください。

IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て

IP Phone の設定時に、ソフトキー テンプレートを IP Phone に割り当てることができます。標準ソフトキー テンプレートおよび非標準ソフトキー テンプレートを割り当てることができます。ソフトキー テンプレートを電話機に割り当てるには、次の 2 つの方法があります。

- ソフトキー テンプレートを共通デバイス設定に割り当て、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、その共通デバイス設定を電話機に割り当てる。
- [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウのソフトキー テンプレート フィールドで、ソフトキー テンプレートを電話機に割り当てる。

共通デバイス設定および電話機を設定する方法の詳細については、[P.93-3](#) の「[共通デバイス設定の設定](#)」および [P.82-3](#) の「[Cisco Unified IP Phone の設定](#)」を参照してください。

関連項目

- [ソフトキー テンプレートの検索 \(P.90-2\)](#)
- [非標準ソフトキー テンプレートの作成 \(P.90-3\)](#)
- [ソフトキー テンプレートの変更 \(P.90-8\)](#)
- [ソフトキー テンプレートの名前変更 \(P.90-8\)](#)
- [ソフトキー テンプレートの削除 \(P.90-8\)](#)
- [IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て \(P.90-11\)](#)
- 『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「ソフトキー テンプレート」

